

実現させよう！答志島架橋

答志島架橋通信

発行：答志島架橋建設促進協議会 会長 答志町内会長 濱崎靖導



知事に要望書提出！～小学生の作文も手渡しました～

平成 26 年 11 月 4 日（火）に県庁において、「答志島架橋建設に関する要望書」を鈴木英敬三重県知事に提出しました。県知事への要望書の提出は平成 21 年 3 月以来、鈴木知事が就任してからは初めてのこと。要望書とともに答志小・桃取小の皆さんに「答志島架橋への思い」をテーマに書いて頂いた作文を提出しました。協議会からは「出産の時にも安心して島で暮らせるように、どうしても橋が欲しい。」等医療面における島での現状を訴えました。また「人口減少が急激に進む中、マイナス面もあるかもしれないが、架橋による新しい流れを作りたい」と言った話もありました。知事からは「野呂知事以来の要望ということに驚いている。そのくらい皆さんから架橋の話を伺っている。離島架橋、答志島架橋については切なる思いであることは十分に理解しているし、未来を担う子供たちの作文をいただいたということを非常に重く受け止めている。」とのことでした。しかしながら、今後については「今回、定期船の建造費を支援させていただいた。離島地域全体の振興を目指す中で長期的課題として引き続き議論させていただきたい。」という回答にとどまりました。

今後とも、島民一丸となった粘り強い活動が必要と言えます。永田県議会議長にも同様の要望書を提出しました。

答志島架橋建設に関する要望書

伊勢湾に面して位置する答志島（三島町属）は、伊勢湾南側支国に位置し、美しい自然と豊かな自然の恵みを受けた島で、人口も増加傾向で最大の有人離島でございまして、島内には答志小、利島小、水取小の3つの小学校があり、人口も人口 20,000 人（平成 26 年 9 月 30 日現在）の 11,395 人であるなど、204 人の島民が暮らしています。

答志島島民は、この歴史、文化、自然の恵みを受け、島に誇りをもち、海と島に生き、自然に寄り添いながら日々の生活を送っています。

しかし、一方で、離島であるが故の孤立性、交通手段により本島の地域と熱の中での生活が難しくなっており、島の発展となるのは、ひとに交通手段が整備されるを得ないという現状にあります。特に、医療や福祉による生活圏の拡大において、大規模な整備が必要で、1 分 1 秒を争う中で、医療や福祉などの面で必要とされる交通手段の整備は最大の課題であり、その整備とすることで、島の未来は変わります。

このような交通手段の整備が実現することで、島の発展と島民の生活の向上が実現します。

答志島島民の生活は、本島の生活と密接な関係にあり、医療、福祉、教育をはじめとする島民の生活の向上は、島の発展と島民の生活の向上に直結しています。答志島島民の生活の向上は、島の発展と島民の生活の向上に直結しています。

答志島島民は、安全で安心して生活するための、島の発展と島民の生活の向上に直結しています。答志島島民の生活の向上は、島の発展と島民の生活の向上に直結しています。

平成 26 年 11 月 4 日

三島町長 鈴木 英 敬

答志島架橋建設促進協議会

会長 答志町内会長 濱崎 靖 導



小学生作文「答志島架橋への思い」

鈴木県知事と永田県議会議長に要望書とともに提出した小学生の作文は、

今年の夏休みに答志小学校と桃取小学校の4年、5年、6年生総勢64名に「答志島架橋への思い」をテーマとして書いていただいたものです。作文にはメリットばかりでなくデメリットについても書かれており、架橋による生活の変化を想像し、島の将来について真剣に考えている子供たちの様子が伝わる作文ばかりでした。皆さん有難うございました。鈴木知事も永田議長もきっと読んでくれていることと思います。作文の主な内容を抜粋してご紹介します。

- ・定期船の時間を忘れて好きな時間に帰れる橋がほしい。
- ・霧の時ドクターヘリや定期船が来られずに急に患者さんを病院に運ばないといけなくなっても、橋が架ければ救急車で運ぶことができるので、橋があればいいなと思う。
- ・橋があれば船に乗るお金もいらなし、人が倒れた時に大きな病院に運ぶこともすぐ出来るので安心です。
- ・橋の架かった便利な生活に憧れるけど、島を大切にしてほしい気持ちがある。大人は橋を架けることにこだわらず、もっと色々なことを考えてほしい。子どもだけで橋のことを話し合うと素敵な考えができるのではないのでしょうか。
- ・橋が架かったら、悪い人が島に来るかもしれない危険が少しはある。逆に観光客が増える可能性がある。
- ・高校を卒業するとほとんどの人がよそに働きに行くので、答志島に残る人がいなくなってきている。家を継いで若い人がいれば、お嫁さんもきてくれて子どもの人数が今よりもっと増えると思う。今のままだと家を継ぐ人がいなくなって年寄ばかりになってしまう。橋があつたら若い人も増えて家を継ぐ人が出てくると思う。漁師をしなくても実家から仕事に行けると思う。
- ・橋が架かると戸や窓のカギを開けていても大丈夫だったけどそんなこともできなくなる。車が沢山くるとガスやゴミのポイ捨てなどがおこる。
- ・おじいさんやおばあさんが倒れた時、橋があつたらすぐ救急車も来てくれるし、病院にすぐ行けるので助かると思う。また答志島は若い人がよそへ働きに行くから若い人が減ってきているので、橋があると仕事も通えて若い人も答志に住めると思う。でも橋を架ける工事をすると海が汚くなって魚がいなくなると漁師が困るので、環境のことも考えてから橋を架けて欲しい。
- ・お客さんが答志島に来てくれるのは、おいしい特産物があっていい島だからです。それなら橋があつたら…もっと来てくれるお客さんが増えると思う。船の時間を気にせずに24時間いられる。



市民運動会でPR活動実施

平成26年10月11日に開催された市民運動会において、答志島以外の皆さんに「答志島架橋建設促進協議会」の活動を広く知っていただくため、「答志島架橋通信～臨時号～」とともにポケットティッシュを配布しました。



新年、明けましておめでとうございます。今年も答志島架橋建設促進協議会の活動にご理解とご協力をよろしくお願いします。